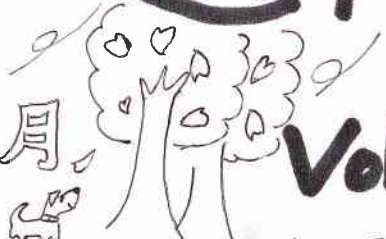


くれあ通信

2011年



3月 Vol.



発行★株式会社クレア

〒351-0006 埼玉県朝霞市仲町1-11-48-303
 TEL / FAX 048 (485) 8540
 http://www.crea-nv.jp /

くれあ通信

『朝霞』

三月はみなさん何を思い浮かべる月なのでしょう。か。下半期？決算？年度末？私の今年の三月は「終」。これは子供の年少終了の月だからです。会社勤めの頃は中国旧正月明けで、またりっつも売上げに翻弄されてしま。子供の存在は大きく、全ての価値観や視線は子供中心に。ただこれをいつまでも続けてゆくと子離れ出来ないや。

「マガコン」になりそうなので常に先を見て目に鱗なんぞ付かないようにしたいです。このくれあ通信も無事一年続ける事か出来て嬉しく思っています。日はまた昇る。みんないい時ばかりではないはずですが、でも明るくあろうその先を信じていきたいてすね。

最後にやと朝霞紹介。今回は陸上自衛隊広報センターへリッくんランドの事業仕分けにも関わったのでご存知の方も多しはず。遊べます。この続編は次号へ！

寒さも少しやわらんできました。春の到来ももうすぐです。ね。我々、株式会社クレアも初年度を終えようとしています。皆様方の暖かいご支援により、おかげ様で無事に創業の年を終え、めでたくることかできます。本当にありがとうございます。ごいました。来年度も一層元々良くよりよいものを出し、いけるよう、社員一同頑張っています。どうぞ今後よろしくお願い申し上げます。

『映画紹介』
 今回は一九五六年にポランドで製作されたアンジェイ・ワイダ監督の「地下水道」を取り上げます。この映画は第二次世界大戦のワルシャワ蜂起を舞台としていて、ドイツ軍から地下水道(下水道)を通して逃げのびようとする中隊を追った作品です。戦争という舞台が下敷きにはありますが、人間の自由獲得を描写したリアリティあふれる力強い作品だと思えます。地下水道という密閉された、ひどく汚ない空間から道もゆかない状態にいかにか、先を求め、そしてそこに生まる。

人々の狂気への変貌がうましく描写されています。この映画が、反戦映画なのか、それとも自由を探索する者へのひとつの啓示なのか、それを考察するのも一考ではあります。この映画から強く感じられたことは、生きる意志。今この時代に、いかに強さを保ち、生きていく人はいかに、そして、明日が来るのは決してあたりまえではありません。強さがあれば、未来が創造できます。あらためて、生を考えることのできる作品です。

『書籍紹介』

第12回は「ゴッホのドイルのシャーロックホームズの冒険」(新潮社)です。は自蔵の探偵ホームズとその友人ワトスン博士が数々の事件を解決していく物語です。本作は10編からなる短編集で、一般に代表作として名高いものが多数含まれています。実は今回初めてこのシリーズを読みました。小説らしい小説、つまり万事をうまく行く展開で、読んでいる愉快な気分になります。翻訳は堅苦しい印象をもの、ウィットに富んだ、という形容詞がふたりと当てはまる物語です。しかし、原文に干渉し、シシてみたくなりました。一作です。